

97年 世紀末への新目標セミナーⅡ

産業新展開を超える力の蓄積

参加をお勧めする人

- 3ヶ年構想をつくらうとする方
- 経営構造の変革を推進する方
- 組織体質転換をめざす方

■ 講 師 現研所長 鈴木 成裕
現研上級主任研究員 大島 和義

■ 日 時 1996年10月22日(火)
13:15~16:50

■ 場 所 サンケイ会館(大手町)603号室
*裏面地図をご参照下さい。

テーマ

グローバルな地殻変動の過渡期にあって、この3ヶ年、どの企業も、日々の競争に勝ち続けなければならない。同時に、この3ヶ年は企業にとって、21世紀を抜群の競争力のもとでスタートをきるための最重要期間である。97年度は、そのための新戦略の節目に当たる年、その認識に立ち、今回は、企業が取り組むべき重点目標を絞って、その推進の考え方と方法を提示する。

◆プログラムご案内◆

セッション1 産業新展開への対応

講師：現研所長 鈴木成裕 13:15~15:00

I 新状況をみる視点

1. 資本主義の変質
2. 動的競争環境の進行
3. 市場の分裂
4. 構造変化への抵抗を押し流す力

II 現在競争力強化の視点

1. 一貫した意思経営の確立
2. コンセプト・マーケティングと散らしマーケティング
3. 期限つき経営の能力強化
4. 分散戦力の統御
5. 開発生産性のアップ
6. IE技術の再建
7. 開発素情報の探索と評価
8. ソーシャル・マーケティングの開始
9. 多領域プロフェッショナル・グループの育成
10. 競争的自社労働原理の構築

以上の概説の後、参加者との討議によって問題認識を深める。

<コーヒーブレイク>

セッション2 討議—企業・組織・個人の革新と優位性の継承

司会：現研上級主任研究員 大島和義 15:15~16:00

- I 鈴木意見に対する質疑または批判
- II 企業が現実抱える問題点の検討
- III 参加者の提示した主題に関する討議
- III 行動力再強化への道筋

<討議について>

※当セミナーの性格上、参加者の方たちの積極的な反論・質疑をお受けします。今回の主題に関する特別な主題について討議のご要望がある場合、事前にご連絡を頂ければ、できるだけ討議の中にとり入れるよう、努力致します。

セッション3 将来に続く力の形成

講師：現研所長 鈴木成裕 16:00~16:40

I エグゼクティブは何を理解しなければならないか

1. 知的ダイナミズム
2. 誰が戦略を実行するのか
3. 今日の課題をクリアし、未来につなげる方法

II 基盤の形成

1. 行動指針としての経営構想とそのつくり方
2. 危険に対応するシステムの構築
3. 社内教育の全面変更

III 集約

1. 意見発表者への謝意とその趣旨へのコメント
2. 原点としての情熱の再建

※16:40から10分程度、出席された方々相互のお名刺の交換の時間をお取り致します。

◆講師紹介◆

すずき 鈴木 成裕

(株)現代経営技術研究所所長。
経営政策、システム開発、教育指導を中心に企業・団体の経営コンサルティングに携わる。著書：「システムの時代」「経営転換の構想」「企業意思のリデザイン」ほか、多数。



おおしま 大島 和義

現研上級主任研究員。
事業開発、経営政策、国際化問題、組織・人事政策を中心に経営コンサルティングを推進。現研経営調査部長として海外経営事情、産業構造等の調査プロジェクトを率いる。